

呼応

第18号

発行
上田染谷丘高校
東京同窓会事務局
〒201-0012
東京都狛江市中和泉
1-26-1
Tel・Fax
03-3489-3593

貞千代への交通

(目標)浅草ビューホテル

- 地下鉄銀座線
田原町駅より徒歩8分
※地図の点線通りにお歩き下さい。
- JR上野駅(中央口)
よりタクシー5分
- JR鶯谷駅よりタクシー5分

平成十五年総会のご案内

若葉の息吹きをいっばいに感ずる季節となりましたが、皆様お健やかに過ごしてはいかがでしょうか。
今年浅草で江戸情緒を味わうという趣向で左記のように、総会を行いたいと思っておりますのでお誘い合わせのうえ御参加下さいませ。

記

期日 平成十五年六月七日(土)

開会 十二時より

閉会 午後二時三十分

会場 助六の宿

貞千代

※勝手ではございますが
早めにお越しください
てもお休みされる席が
少ないので開会十分前
くらいまでに御参集下
さい。

会費 金八千円也

(年度会費 金壹千円を含む)

同封の振込用紙でお振込み下さい。

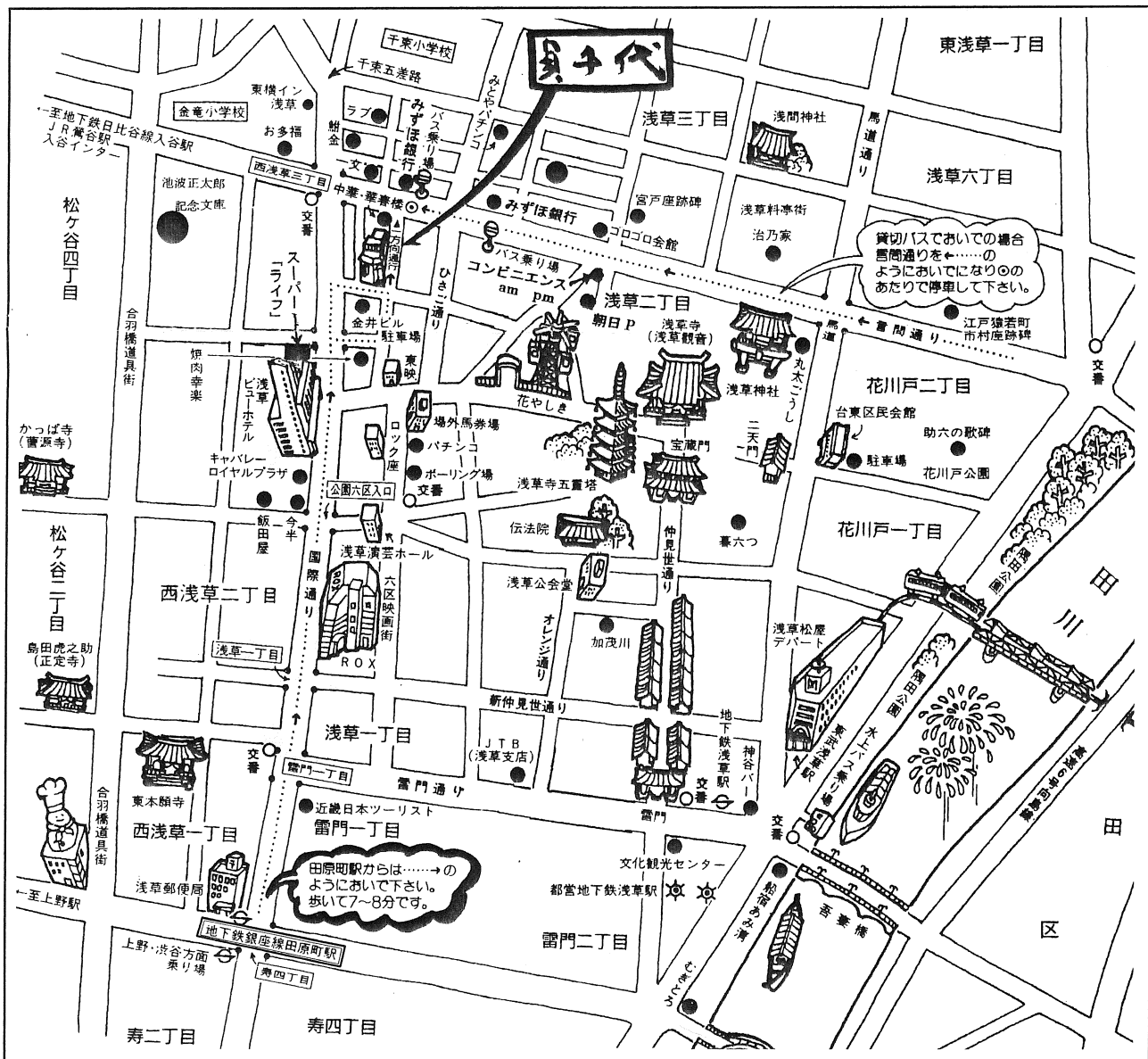
◎会費の振込みを出席通知に代えますので、出欠はがきは、同封いたしません。

◎総会に欠席の方は年度会費のみお振り込み下さい。

◎出席の方は五月二十日までに振り込み下さい。

連絡先 電話・ファックスとも〇三三三四八九一三五九三 飯田

〒111-0032 東京都台東区浅草2-20-1
TEL 03-3842-6431
FAX 03-3842-6433
Email front@sadachiyoko.co.jp
URL http://www.sadachiyoko.co.jp



年間活動報告

平成十四年

四月二日 役員会

十六日 会報校正

二十三日 会報発送

五月十八日 本部役員総会
(上田染谷ホール)

東信連総会

(二名出席)

六月一日 総会

七月六日 同窓連総会

九月十四日 本部総会
(上山田清風園)

十一月二十七日

役員会

平成十五年

一月二十二日 役員会

三月十九日 会報編集作業

東京同窓会の活動は大体右のとおりですが、活動にお手を貸していただける方、積極的な御参加をお待ちしております。
又「呼応」へ、思い出話・文芸作品・同期会だより等なんでも結構ですので皆様のご投稿をお待ちしております。



琵琶と生きて

高15回卒 半田淳子

子どもの頃から小さな憧れを抱いていた染谷、私が小学校入学の年、九つ年上の姉は染谷丘高校へ入学しました。ですから、染谷の庭にはたびたび遊びに行き、秋の文化祭は、楽しみの一つでした。ことにその中で行われるオペラは、私の憧れとなっていました。

染谷に入学して、私は迷わず音楽班に入りました。二年生の時、先輩から「主役の『王美芳』は貴女にやって欲しい」といわれ、私はただ夢中で、夏休みも返上して、毎日毎日練習に励みました。そして三年生の時、班長に指名され、うろたえながらも、まわりの人たちに支えられ、夢中で過ごしたあの音楽班でのことが、私の青春時代の大切な思い出となつていきます。あの時流した汗と涙は、その後の私の人生にも大きく役立っているように思います。

高校を出た頃、一九六〇年代は、日本の文化が世界にも新しく評価され始めた頃で、映画の世界では黒沢明の「羅生門」や溝口健二の「雨月物語」、そして武満徹音楽の「怪談」などで、邦楽器が目玉され、琵琶や尺八の音が、鮮烈な印象で、人々の耳に入ってきました。そして武満徹の交響曲「ノーベンバーステップス」が国際的な音楽世界に登場してゆくという時代の流れになつていきました。その曲の



琵琶の奏者であり、母の師でもあった鶴田錦史との出会いが、その後私が琵琶の道で生きて行くきっかけとなったのです。

NHKや日本音楽集団でも、邦楽器のいろいろな分野での若い才能と出会いました。伝統音楽からさらに新しい伝統の創造へと挑戦し続ける仲間達とともに無我夢中で歩んだ二〇年間は、その後の私の活動のひろがりや、さらに可能にしてくれました。

国内各地はもとより、遠く海外まで足を運び、演奏して歩いた国々は三〇数カ国にのぼり、音楽の世界だけではなく、あらゆるジャンルの芸術家達とも出

会い、その多くの出会いが、琵琶という楽器を軸として歩んできた私の人生を、さらに豊かにしてくれましたように思います。

昨年の夏、東京文化会館で行われた池辺晋一郎作曲のオペラ「耳なし芳一」の公演が、私の胸に残っています。いつか私の故郷「上田」で、このオペラの公演を実現したいというのが、今の私の願いです。「上田も、不況が続ぎ、大きなイベントをこなせないのでは」ということのようにですが、いつかきつと、故郷の人々の心に響く舞台音楽を紹介できる日が来ると信じています。

今年の六月「ロマネスクの夏音楽祭」に招かれ、ローマ、ミラノ、ケルン等で演奏する予定です。また秋には「江戸開府四〇〇年記念支援事業」として千代田区の紀尾井ホールで、リサイタルを行うことになりました。伝統から、新しい伝統の創造まで、琵琶という楽器に込められた美しい音色をさらに深めてゆかために、私の道のりは、これからもまわりの人々に支えられながら続きます。

自然を楽しむ

高6回卒 松岡よし江

子供の頃から自然が大好き。高校時代、上高地へキャンプに行つて素晴らしい山の景観に接した感動は、今でも忘れられません。

結婚した相手が登山のベテランで、同行できる筈が主人は仕



山系のトムラウシ山に花を求めて出かけました。

北海道の山は、スケールが大きく高山植物の豊富さは本州の比ではないと主人に誘われ、同行することになりました。

層雲峡からタクシーで沼の原登山口へ。途中鹿の親子が車道に何匹も飛び出し、山深さを実感しました。沼の原湿原は、大雪山系の南の入り口で、池塘が浮かぶ大小の沼にはワタスゲが揺れ、沼の向こうにトムラウシ山が美しいスカイラインを画き、一幅の名画を見る思いがしました。湿原でエゾイソツツジやミヤマリンドウに別れを告げ、五色の水場で喉を潤して五色ヶ原に向いました。

五色ヶ原は、花の種類が豊富で多彩な事から名付けられたといわれ、ピンクのエゾコザクラ、白いチングルマ、エゾノハクサニンイチゲ、黄色いエゾノリュウキンカ、チシマノキンバイソウ、薄紫のホソバウルップソウと枚挙に暇がありません。花を愛でながら五色ヶ原を過

ぎて五色岳に登ると忠別岳へ直進する道と、左にトムラウシ山への道が分かれる。私たちは左への道をハイマツを分けながら進んでくと、ハイマツのない所に咲く花が、疲れを癒してくれました。化雲岳から雪渓を横切り、一気に下ると、ヒサゴ沼避難小屋に着きました。

雄大な大雪山の山懐深く入り、沢山の美しい高山植物や野生動物に接して、身も心もリフレッシュでき、よい老化防止になったと思います。

七月十日も快晴。五時に朝食を済ませ正面の雪渓を登る。稜線直下の岩石帯を行くと「チツチ」とナキウサギの音がする。七mほど離れた岩の上で縄張り宣言をしていた。さらに岩石帯を三十分ほど行くと日本庭園で、素晴らしい景観が広がっています。小沼を囲んで水と岩石と植物の配置は素晴らしく、自然の造形美を十分に観賞させてくれました。

頂上直下の北沼には、大きな雪田があつて暖かい日光で解けたブロックが、崩壊して沼に落ちるのにはビックリしました。ここから頂上までは累々たる岩石の間を攀じ登つて行き、十一

上田高女・上田染谷丘高校 東京同窓会平成14年度会計報告

収入		支出		
前年度より繰越	526,620	総会費	255,375	
年会費	329人	329,540	渉外費	49,000
総会費	18名×8000	144,000	通信費	56,000
祝儀		40,000	印刷費	28,990
補助金	支部費	5,000	事務費	17,713
受取利息	郵貯	82	会議費	36,750
			交通費	31,460
			次年度へ繰越	569,954
		1,045,242		1,045,242

上記のとおりご報告申し上げます

平成15年3月31日 会長 飯田孝代
会計 小川和子 高橋克子
監査 結果相違ありません 会計監査 水野美代子

編集後記

この会報が皆様のお手許に届く頃は、若葉の美しい季節となり、私達のふるさと花々が咲きほこっていることでしょう。今年には善光寺の御開帳。ふるさとに出掛けてみては……